

公立高校入試情報 長崎県

【数学】

令和7年度長崎県入試の全体傾向

- 今年から一部選択問題となり，A，Bの二本立てになった。
- 大問は昨年より1問減で5問，小問数は37問で例年通り。
- 大問1は小問集合，大問2は箱ひげ図，確率，式による説明，大問3は関数，大問4は円と相似，大問5は三平方の定理を使う平面図形。
- 証明問題も全文記述式で出た。作図，式による説明，過程など，記述問題は多い。
- 大問5は問題文が長い会話形式で，題材はミツバチの巣の穴の形。読解力，思考力も必要とするので，類題で慣れておきたい。

■ データを読みとる問題の出題

・度数分布表やヒストグラム，箱ひげ図などのデータを読みとって答える問題がよく出題されている。データの傾向をとらえられるよう練習しておく必要がある。

■ 読解力・表現力をみる問題の出題

・問題文をしっかりと読みとり，理由や考え方を説明する必要のある，読解力・表現力をみる問題がよく出題されている。落ち着いて取り組めるよう，解答形式に慣れておく必要がある。

★長崎県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●		●	
		方程式	●			
		比例と反比例	●			●
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●	●	●
	2年内容	式の計算	●	●	●	
		連立方程式			●	●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●	●		●
		三角形	●		●	
		平行四辺形				
		確率	●	●	●	●
	3年内容	データの比較と箱ひげ図		●		●
		式の計算	●	●		●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
出題形式別の傾向		三平方の定理	●	●	●	●
		標本調査	●		●	
	大問数		6	6	6	5
	小問数		38	41	35	37
	記述問題	図形の証明(説明)				1
		その他の説明・証明など	1	1	2	1
		立式・解法の過程の記述	1		1	1
		作図(図形)	1	1	1	1
	作図(グラフ)					